

福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年12月17日)

【件名】

- 1 鳥取県立中央病院の「院内ツアー」の開催について…………… 2
- 2 鳥取県立厚生病院における災害対応訓練(防災訓練)の実施について…… 3

病 院 局

鳥取県立中央病院の「院内ツアー」の開催について

令和3年12月17日
病院局総務課

鳥取県立中央病院において、地域の医療関係者や住民に対して、同院が提供する医療への理解を深めていただき、より開かれた病院になることを目的に、「院内ツアー」を開催することとし、第1回目のツアーを開催しましたので、その概要を報告します。

1 日時

令和3年12月9日（木） 午後1時25分から3時10分まで

2 場所

鳥取県立中央病院

3 参加者

訪問看護ステーション 訪問看護師6名

（看護協会訪問看護ステーション、訪問看護ステーションナースくる）

4 内容

ア オリエンテーション

イ 院内見学

- ・ヘリポート
- ・緩和ケア病棟
- ・手術室見学

※ ロボット手術「ダヴィンチ」を直接動かす疑似体験も実施。

ウ 院長によるミニレクチャー

エ 意見交換等

（主な御意見）

- ・市民、県民に開かれた組織を目指す姿勢が感じられた。
- ・新病院になり診療科が多くなり、遠のいたように感じていたが、救急体制がきちんと取られていることなどが分かり安心した。
- ・関わった患者様が緩和ケア病棟に入院することがある。コロナ禍で面会できないが、今回の見学で入院の様子を感じることができた。
- ・いつもは電話でやり取りする相手の顔が分かってよかった。

5 その他

今後は企業、町内会、学校、地域住民などに対象を拡大予定。



鳥取県立厚生病院における災害対応訓練（防災訓練）の実施について

令和3年12月17日
病院局総務課

鳥取県立厚生病院において、新型コロナウイルス感染症が地域で発生している局面で大地震が発生した場合を想定した災害対応訓練を実施したので報告します。

1 訓練の概要

- (1) 実施日時 12月4日（土） 午前8時15分から11時まで
- (2) 想定災害 倉吉市を震源とする震度6強の地震
- (3) 参加人数 138名
(内訳 職員109名（うちDMAT隊員19名）、中部消防局職員5名、倉吉総合看護専門学校の学生24名（ボランティア参加）)
- (4) 訓練の位置づけ 厚生病院の消防計画に定める防災訓練の一環として実施。
(DMAT隊員研修事業の研修も兼ねる。)
- (5) 訓練内容
 - ①暫定災害対策本部の設置訓練
(夜間、休日における救急当直医を責任者とする在院職員による暫定本部の立ち上げ、初動対応、院内放送の内容・手順等について参加した院内職員全員で確認)
 - ②院長を本部長とする災害対策本部による図上訓練
(本部の設営訓練、地震発生後に訓練本部から付与される諸条件(被害情報)の情報集約、インフラ被害への救援要請・対応策検討、診療応需に沿った職員等のリソース配分の検討など)
 - ③ボランティア参加の看護学生を被災患者に見立てたトリアージ訓練、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた患者受入訓練
(トリアージに応じた治療エリアのゾーニング、個人防護具を着用しての患者搬送、処置の手順の確認、電子カルテの停止を想定した紙カルテ運用など)

2 訓練の成果及び今後の対応

- (1) 訓練の成果
 - ・災害発生時の初動（災害発生時の手順、災害時用物品の保管場所、本部設置の要領、本部での行動等）を多くの職員で確認できたことで実際の災害対応力が向上した。
(鳥取県中部地震ではその1年前に行った災害対応訓練の経験に基づき円滑な業務継続が可能となった。)
 - ・新型コロナウイルス感染症の発生局面での被災患者の受け入れ手順を確認できた。
- (2) 今後の対応
 - ・訓練参加者に提出を求めた訓練のアンケート等をもとに1月に院内で検証会を開催し、訓練を通じて明らかになった問題及びその対応について検証を行う。

